

# 会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（芹沢久組自治会）
2	日時	令和7年2月16日（日）10:00～11:00
3	場所	芹沢久組自治会館
4	出席者	（資源循環課）小俣課長、八幡主事 （環境事業センター）永島所長補佐、和田技能労務副主任 （芹沢久組自治会）参加人数：25人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 戸別収集の実施に伴い、指定ごみ袋の値段は上がるか。 → その予定はない。</li> <li>● 藤沢市では指定ごみ袋から中身がはみ出ても収集されているが、茅ヶ崎市では収集されない。改善はされるか。 → 昨年5月に策定した「ごみ収集方式のあり方」において、『指定ごみ袋の使用方法の見直し』に取り組むことを位置付けている。今すぐには改善することはできないが、検討しているところである。</li> <li>● 燃やせないごみであるレンジやトースターを出す際に、中にごみを入れて出しても良いか。規定の容量を買っているのだから、その中でのごみ出しの方法は、何でも良いのではないか。 → ガスボンベやリチウムイオン電池など火災につながるものに気づかず、収集してしまう恐れがあるため、ごみの中にごみを入れて出さないでいただきたい。</li> <li>● 収集職員が分かるようにポリバケツなどに貼るシールなどがあればいいのではないか。 → 今回の実験においては、そのようなものは用意していない。</li> <li>● 収集業務を民間事業者へ委託すればよいか。民間事業者の方が、フットワークが良いように感じる。 → 現在の収集業務でも民間事業者の力を活用して、業務を行なっている。今回の実験においても民間事業者の力を活用するが、芹沢地区においては、市の職員が収集させていただく。</li> <li>● 収集時間を事前に教えて欲しい。 → 事前にお知らせする予定はない。収集漏れが生じないように排出時間を守っていただきたい。</li> <li>● 燃やせるごみが集積場所に出されてしまったら、どうなるか。 → 燃やせるごみは、集積場所での収集を行わない。燃やせないごみや資源物を収集</li> </ul>

している集積場所に出されてしまった場合、啓発シールを貼り、出し直しを促すが、燃やせるごみだけを収集している集積場所であれば、自身で出し直していただく必要がある。

● 集積場所での収集に戻す可能性があるか。

→ 戸別収集による影響や効果が確認できなかった場合においては、ステーション収集に戻すということも考えている。

● 安心まごころ収集制度でも戸別収集を実施しているようだが、その要件は何か。

→ ごみや資源物を集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に戸別収集を実施している。障がいの程度が1級もしくは2級の方がいる世帯や要支援1から要介護5の方がいる世帯などが対象である。

● 事業者への周知は、どのように行なっているか。

→ 市より、周知用のチラシやガイドブックのほか、事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書をポスティングしている。

● 防犯面で何か対策をする必要があるか。

→ 防犯面でトラブルが生じたという事例は、先行市の事例では確認できていない。各自で必要に応じて対策を講じていただきたい。

● ごみ有料化でごみは減ったか。

→ ごみ有料化で25%の減量を目指しているところであるが、現時点において約20%の減量化が進んでいる。

以上